



株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

大阪府北部地震、平成30年7月豪雨により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

第119期第2四半期連結累計期間(平成29年12月1日～平成30年5月31日)におけるわが国経済

は緩やかな回復基調を続けており、海外経済は緩やかな成長が続いております。

このような状況のもと、当社グループは平成29年度から平成31年度までの3か年を対象として策定した「中期経営重点課題」および「カンパニービジョン」に基づき、各事業の特性に応じた施策の実施に努めました。

当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高133億20百万円、営業利益は産業用機能フィルター・コンベア事業および電子部材・フォトマスク事業の利益率低下の影響により5億54百万円となりました。経常利益は主に持分法による投資利益の減少により5億47百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に繰延税金資産を計上した影響で法人税等が増加した結果、3億41百万円となりました。

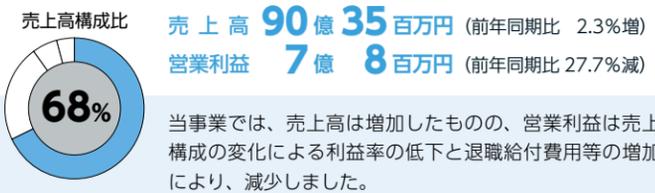
今後も引き続き、顧客満足度の向上を図り、各事業分野の収益力を高め、併せてグループシナジー効果による事業拡大に向けた活動を強化して、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらず格別のご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

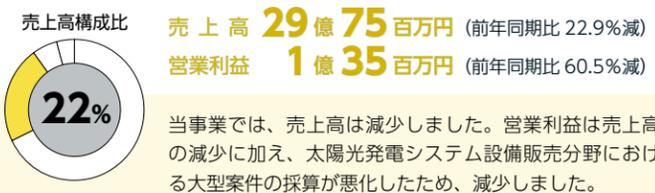
平成30年7月

代表取締役社長 **名倉 宏之**

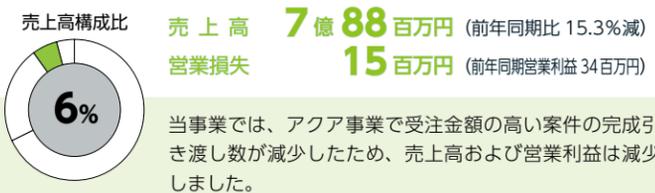
### 産業用機能フィルター・コンベア事業



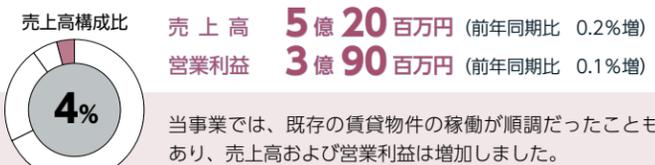
### 電子部材・フォトマスク事業



### 環境・水処理関連事業



### 不動産賃貸事業



## 日本フィルコンの女性活躍とワーク・ライフ・バランスの推進

人材力の最大化のため、女性活躍とワーク・ライフ・バランス(WLB)の推進に力を注ぐ日本フィルコン。グループ人材戦略の具体的な施策について、名倉社長に聞きました。

Q. 日本フィルコンでは多くの女性社員が在籍していますが、女性の活躍に期待するところを教えてください。

A. この5年ほどで、女性の採用が顕著に増えており、新卒採用における女性の比率は40%を超えています。選考の際は特に性別を意識することなく、有能な方に入社いただきたいという方針で臨んでいますが、採用人数の半数近くを女性が占める結果となりました。すでに多くの女性社員が様々な部署で活躍しており、総合職の女性社員の割合は、人事、総務、経理等の管理部門では30%台後半、研究開発部門でも約25%を占めています。そのほか、生産部門においても多くの女性社員が活躍しています。

これまでの製造業は女性の発想や価値観をなかなか組織



に取り入れにくい状況がありました。しかし、新規事業の立ち上げや新商品の開発等、新たな成長に向けて挑戦していく過程には、多様な人材のアイデアが必要です。私は、女性の視点や発想が会社を変えていくきっかけになればと思っています。実際、当社では、女性の発想が活かされた例があります。例えば、当社開発の消臭技術を応用したにおい成分を吸着する「におクリン®マスク」等は、企画、マーケティングの初期段階から女性社員が携っており、女性の感性が開発と製品そのものにも活かされています。

Q. 女性管理職比率3%という目標を掲げていますが、達成の見込みはいかがでしょうか。

A. 現在2%台前半であり、3%の目標はまもなく達成する見込みですので、次なる目標に向け、エリア管理職制度を2019年度からスタートします。これは介護や育児等、個人的な都合で勤務地を変更できない管理職に対して勤務地を限定することが可能となる制度です。女性社員に限定した制度ではありませんが、新たな選択肢を用意することで、さらなる女性の管理職登用を進めていきます。

また、当社の海外グループ会社を含めた女性社員比率は約27%、女性管理職比率は約5%となっています。特にタイ王国の子会社2社は設立当初から女性のリーダーが複数おり、引き続き、グローバルでも女性活躍を推進してまいります。



Q. 日本フィルコンのWLB推進について、社長の考えをお聞かせください。

A. 残業時間削減の目標を掲げても、現場の生産性や業務効率の改善を並行しなければ、混乱を招くだけです。当社のWLB推進は現場改善と両輪で取り組んでいます。

現在、当社では全部門の生産性向上、効率化を目的に受注から出荷・売上までのシステムソフトウェアの全面見直しや生産ラインの自動化等の取り組みにより省人化を進め、人的ミスの削減を目指しています。就労に関しては、年間総労働時間の短縮のため、生産部門で一日15分短縮を推進しており、順次、管理部門等にも展開していきます。有給休暇取得、定時退社等の施策はまず管理職自ら実践し、現場の意識改革を図っています。

このように会社が制度を作り改善を図ることも大事なことです。その前に従業員一人ひとりが自身のキャリアプランやライフプランを持つことが重要です。当社は、これらを描くことができるよう働きかけを行っていきたいと思います。WLBとは、会社が一方的に従業員に与えるものではなく、従業員の望む働き方像に、会社が応えていくものだと思います。

### アクアプロダクト

## パンパシフィック水泳選手権 オフィシャルパートナー就任の お知らせ



アクアプロダクトはPAN PACS 2018のオフィシャルパートナー

当社子会社の(株)アクアプロダクトが、「パンパシフィック水泳選手権 2018」のオフィシャルパートナーに就任いたしました。大会の様子はテレビ朝日系列で8月9日(木)から4夜連続で生中継されます。

プールサイドや表彰バックボード、選手インタビューのバックボード等に、下記アクアプロダクトのロゴが掲示される予定です。ぜひご覧ください。

大会日程 **【競 泳】8月9日(木)～8月12日(日)**  
**【OWS\*】8月14日(火)**

\*OWS(オープンウォータースイミング):  
海や川・湖等、自然の水の中で行われる長距離水泳競技

大会Webサイト <https://panpacs2018.com/jp/>

掲示されるロゴ **AQUA PRODUCT**

## 財務ハイライト

### 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期末 平成30年5月31日現在	前期末 平成29年11月30日現在
流動資産	18,108	18,664
固定資産	21,000	21,289
流動負債・固定負債	17,882	18,679
純資産①	21,227	21,273
総資産	39,109	39,953

(注)記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

### 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 平成29年12月1日から 平成30年5月31日まで	前第2四半期 平成28年12月1日から 平成29年5月31日まで
売上高②	13,320	14,144
売上総利益	4,489	5,029
営業利益③	554	998
経常利益	547	1,029
親会社株主に帰属する 四半期純利益	341	1,632

(注)記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

### 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期 平成29年12月1日から 平成30年5月31日まで	前第2四半期 平成28年12月1日から 平成29年5月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	921	749
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,156	△1,426
財務活動による キャッシュ・フロー	448	58
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,202	3,703

(注)記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

## 会社概要

(平成30年5月31日現在)

商号 日本フィルコン株式会社  
 本店所在地 東京都稲城市大丸2220番地  
 TEL 042(377)5711(代表) FAX 042(377)5714  
 設立年月日 昭和11年3月18日(創業大正5年)  
 資本金 26億85百万円  
 上場取引所 東京証券取引所(市場第一部)  
 ホームページ <http://www.filcon.co.jp/>

### 主要な製造、販売品目

紙・パルプ抄造用網、各種工業用特殊網等  
 電子部材、フォトマスク製品、太陽光発電システム設備等  
 プール本体および水処理装置、その他環境関連製品等  
 店舗・駐車場の賃貸等

### 主要な事業所等

#### 当社の主要な事業所

本社・東京事業所(東京都稲城市) 静岡事業所(静岡県富士市)  
 北海道営業所(北海道千歳市) 大阪営業所(大阪府大阪市)  
 上海事務所(中国 上海市)

#### 子会社

Filcon America, Inc. (アメリカ オレゴン州)  
 FILCON FABRICS & TECHNOLOGY CO., LTD. (タイ プラチンブリ県)  
 FILCON EUROPE SARL (フランス パ・ラン県)  
 関西金網株式会社(本社：大阪府大阪市)  
 Kansai U.S.A. Corporation (アメリカ テキサス州)  
 Siam Wire Netting Co., Ltd. (タイ ランブーン県)  
 TMA CORPORATION PTY LTD (オーストラリア 西オーストラリア州)  
 関西金属網科技(昆山)有限公司(中国 江蘇省)  
 エスデアイ・エレクトロニクス・ジャパン株式会社(本社：東京都稲城市)  
 株式会社アクアプロダクト(本社：東京都千代田区)

当社従業員数478名 企業グループ従業員数1,246名

### 取締役・監査役

役職	氏名
代表取締役社長	倉 宏之
常務取締役	齋藤 芳治
常務取締役	松下 篤史
取締役	二階堂 秀保
社外取締役	片山 洋一
常勤監査役	内田 勝
社外監査役	村山 周平
社外監査役	水野 秀紀

## 株式の状況

(平成30年5月31日現在)

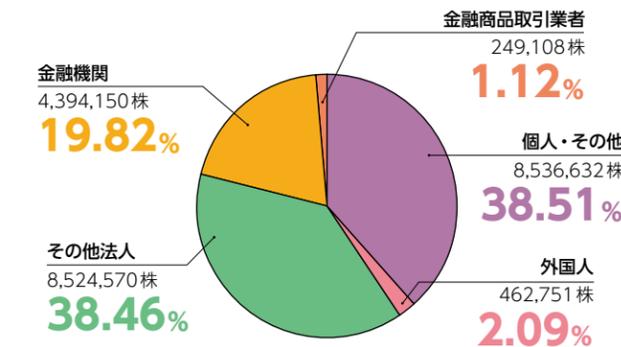
発行可能株式総数	80,000,000 株
発行済株式の総数	22,167,211 株
株主数	16,868 名

### 大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
王子ホールディングス株式会社	27,001	12.20
大王製紙株式会社	18,165	8.21
日本フィルコングループ従業員持株会	16,057	7.26
日本製紙株式会社	15,581	7.04
三菱UFJ信託銀行株式会社	10,230	4.62
いわき大王製紙株式会社	4,740	2.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,425	2.00
竹田昌弘	4,120	1.86
株式会社みずほ銀行	4,000	1.81
第一生命保険株式会社	3,950	1.78

(注) 1. 持株比率は自己株式(36,479株)を控除して計算しております。  
 2. 持株数は百株未満は切り捨て、持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

### 所有者別持株比率



株主メモ	
事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
配当金の基準日	期末配当金: 11月30日 中間配当金: 5月31日
定時株主総会	毎年2月
議決権の基準日	定時株主総会: 11月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社のホームページ <a href="http://www.filcon.co.jp/">http://www.filcon.co.jp/</a> に掲載いたします。ただし、 電子公告によることができない事故その他やむを得ない 事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### 株式に関するお問合せ先

#### 証券会社に口座をお持ちの場合

お問合せ先	お取引の証券会社になります。
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、株主名簿管理人まで お問合せください。

#### 特別口座の場合

お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
ご注意	単元未満株式の買取り以外の株式売買はできません。(特別口座に記 録したままでは、株式を証券取引所で売買することはできません。)

### 株主優待制度 毎年11月末現在の株主様へ

#### 1. 優待内容

保有株式数	保有期間	優待内容
100株以上1,000株未満	1年未満	500円相当のQUOカード
100株以上1,000株未満	1年以上継続	ワイン1本
1,000株以上	1年未満	1,000円相当のQUOカード
1,000株以上	1年以上継続	ワイン1本(限定品)

#### 2. 贈呈の時期

- QUOカード：毎年2月下旬の定時株主総会終了後の「定時株主総会決議  
ご通知」および「株主通信」ともにお送りする予定です。
- ワイン：毎年3月下旬にお送りする予定です。

(注) 1年以上継続保有の株主様とは、5月31日および11月30日現在の株主名簿に、  
同一株主番号で、3回以上連続で記載または記録された株主様といたします。



## 第119期 第2四半期

# 株主通信

平成29年12月1日から平成30年5月31日まで

